

# 茨城大学学報

第267号

平成18年6月～平成18年7月



高校生で賑わった 2006 オープンキャンパス

## INDEX

- ◆「地球変動適応科学研究機関」設立記念シンポジウム
- ◆大学教育センター総合英語講演会
- ◆危機管理に係る安全運転に関する講演会
- ◆体育祭
- ◆AED・救急救命講習会
- ◆茨城大学名誉教授称号授与式
- ◆茨城県教育委員会と茨城大学教育学部との連絡協議会
- ◆農学部オープンキャンパス
- ◆2006オープンキャンパス
- ◆「NHK県域デジタルTV放送」茨大タスクフォースだより  
6月号 7月号 臨時増刊1～9

茨城大学総務部総務課広報係

TEL 029-228-8008

FAX 029-228-8019

## 「地球変動適応科学研究機関」設立記念シンポジウムを開催

本学では、平成18年6月1日(木)に「地球変動適応科学研究機関(ICAS)」の設立を記念してシンポジウムを開催しました。

ICASは、東京大学を主幹とする「サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)」に茨城大学が参加したことから、その研究教育拠点として設置したものです。「地球環境と地域のサステナビリティをめざす新しい学問 - 気候変動への対策からエコ・ライフ、環境教育まで - 」と題したシンポジウムでは、IR3S副機構長の武内和彦東京大学教授、環境ジャーナリストの幸田シャーマン国連広報センター所長、三村信男本学教授(ICAS機関長)の講演のあとパネル討論を行いました。

定員を超える220名の参加者が会場の茨城県立図書館ホール(水戸市)を埋め、サステナビリティ学という新しい学問の内容や気候変動の影響、循環型社会のあり方等の講演に聴き入り、本学の新しい研究教育組織の出発を飾るイベントとなりました。



シンポジウム会場(茨城県立図書館ホール)

## 大学教育センター総合英語講演会を開催

大学教育センター総合英語教育部では、平成18年6月7日(水)共通教育棟において、「2006年度第1回FD講演会」を開催し、ジョージア工科大学(アメリカアトランタ州)のウエンディ・ニューステッター博士が「ジョージア工科大学における『問題解決型教育プログラム』」と題した講演がありました。

ジョージア工科大学バイオメディカルエンジニアリング学部では、この問題解決型教育プログラムを1年生に導入し成果をあげており、このプログラムについて、成立過程、運営方法、カリキュラム、成果等について、詳細な説明が行われました。

講演後には、日本の大学で同様なプログラムを実施するにあたって予測される問題点、その解決方法などについて活発な意見交換が行われました。

日本の大学では、このような教育プログラム導入が文化的背景なども含めて難しいように思えますが、ジョージア工科大学でも発足当時はその成果を疑う教師陣が多かったそうでした。しかし「自分のような研究者を育てたくはない」という教員の熱意から同プログラムが発足したそうです。その結果は、アメリカでもトップクラスの研究者が、「もし自分が大学1年の時にこのような教育プログラムを受けていれば、自分の研究が20年早く進んでいただろう」と述べたとのことでした。

本学では、後学期にも講演会を予定しています。



ウエンディ・ニューステッター博士

## 『危機管理に係る安全運転に関する講演会』を開催

本学危機管理室は、教職員が常に交通事故発生リスクを抱えていることを認識し、道路交通の安全と秩序維持への意識改革を図るため、「危機管理に係る安全運転に関する講演会」を平成18年6月16日（金）に水戸キャンパスで開催しました。また、キャンパスの異なる日立・阿見キャンパスからもVCSを利用し聴講しました。

講演会では、本学の安全運転管理者の小澤総務課長から開催の趣旨について説明があり、引き続き、県内各地で交通安全教育に関する多くの講演を行っている本学人文学部の伊藤哲司教授による「安全運転管理のために - 心理学の立場から - 」をテーマに、「知覚/認知」、「性格」、「態度変容」、「操作（行動）」、「学習」、「気」の心理をどのようにしたら安全運転のための内発的動機づけ（いわゆる「やる気」）を高められるかの工夫等について講演がありました。

通勤や業務で運転を行う者からペーパードライバーまで約100名が熱心に聴講し、「慣れ・過信・錯覚」など普段意識していなかった事が心理学的見地からは非常に危険な運転行為であると知り、ドライバーとしてのリスクの認識や安全運転の必要性を再確認することができた講演となりました。



各種統計や心理学教材を使い講演を行う伊藤哲司教授

## 体育祭を開催

第57回体育祭が、6月17日（土）に水戸地区第2グラウンドで開催されました。この体育祭は、教育学部学校教育教員養成課程体育専攻の学生を中心とした体育祭実行委員会の企画によって、毎年行われています。

開会式では、村中大会会長（副学長・教育担当）の挨拶、岡本審判長（教育学部教授・保健体育講座主任）柴崎大会顧問（学務部長）への各賞カップ返還の後、黒いスーツにアフロヘアーの仮装をした男子学生2名により趣向を凝らした宣誓が行われました。

競技は、サークル対抗リレー、人間知恵の輪、大玉送り、校内マラソンなど、アイデアとバラエティに富んだ内容の全8種目。体育系サークルを中心に約10サークル、総数120名以上の参加学生が紅白に分かれ熱戦を繰り広げました。

閉会式では、優勝した白組と MVP に選ばれた学生に賞状とカップ等が授与され、最後は男子学生の応援団長による参加学生の健闘を称える力強いエールと、参加者全員による校歌斉唱で幕を閉じました。



校内を丸ごとコースにした「茨大マラソン」の様子

## AED・救急救命講習会を開催

農学部ではAED（自動体外式除細動器）・救急救命講習会を平成18年6月26日（月）と7月13日（木）に開催しました。

ここ数年、AEDの普及が広まっていく中で、昨年農学部にもAEDが設置されたことに伴い、教職員及び学生に対してAEDの使用法とともに救急救命処置を習得させるために開催されたものです。

講習では、阿見町消防署の救急救命士が講師となり、約30名が受講し1グループ4～5名に分かれ、人工呼吸や心臓マッサージの仕方など救急救命法の訓練の後、AEDを用いての救命方法の指導を受けました。受講者はそれぞれ真剣に訓練に取り組み、また質問も積極的にされて3時間の講習会はあっという間に過ぎました。

講習の中で、人が倒れてから救急車が到着までの約6分間の間に、近くにいた人が迅速に対応することで落ち始めた「命の砂時計」を止めることができるとあり、今回の受講によりその役割の担い手となられることが期待されます。

また、AED収納ボックスを今年5月、研究棟1階のエレベーター前に設置し、まだ講習を受けてない教職員にもAEDの存在を周知するとともに、今後も継続的に講習会を開催する予定であります。



真剣にAEDの操作方法を学ぶ受講生たち

## 茨城大学名誉教授称号授与式

平成18年5月25日(木)開催の教育研究評議会において、平成18年度茨城大学名誉教授として、下記の先生方21名が決定され、6月28日(水)事務局会議室に於いて関係者ご列席のもと、名誉教授称号授与式が執り行われました。

### 記

元官職名	氏名	元官職名	氏名
人文学部 教授	かたやま ようのすけ 片山 洋之介	理学部 教授	いちまさ ゆうすけ 一政 祐輔
人文学部 教授	あさの よういち 朝野 洋一	理学部 教授	わたなべ たかし 渡邊 堯
人文学部 教授	かのう よしみつ 加納 喜光	工学部 教授	ももせ よしひろ 百瀬 義広
人文学部 教授	うめだ たけとし 梅田 武敏	工学部 教授	ふじい かんいち 藤井 寛一
教育学部 教授	やました つねお 山下 恒男	工学部 教授	おおぐち くにのみ 大口 國臣
教育学部 教授	ささき やすあき 佐々木 靖章	工学部 教授	すずき たくじ 鈴木 鐸士
教育学部 教授	なかむら ともこ 中村 朋子	工学部 教授	むらのい てつお 村野井 徹夫
教育学部 教授	さとう えいいち 佐藤 瑛一	工学部 教授	おの かつみち 小野 勝道
教育学部 教授	さとう ひでお 佐藤 英雄	農学部 教授	まつだ てるお 松田 照男
教育学部 教授	いなみ やすお 稲見 泰生	広域水圏センター 教授	にれい ひさし 楡井 久
理学部 教授	あまの たかよし 天竺 堯義		



称号記を授与された名誉教授の方々

## 茨城県教育委員会と茨城大学教育学部との連絡協議会を開催

教育学部では、平成18年7月14日(金)に「平成18年度茨城県教育委員会と茨城大学教育学部との連絡協議会」を本学大学会館において開催しました。

同協議会は、地域の教育及び教員養成に関わる諸問題並びに教員の資質向上等を図ることを目的として、平成12年度に設置されたものです。

教育委員会側から稲葉教育長、教育次長、各課長等16名、大学側は教育学部長、学部長補佐、各種委員会委員長など20名が出席し、教職大学院(専門職大学院)について、

教員免許更新制度について、教員採用予定者に対する採用前研修について等に活発な意見交換が行われ、相互の連携協力の一層の推進を図り、今後、同協議会を更に充実させることになりました。



連絡協議会での意見交換のようす

## 農学部で公開説明会を開催

農学部では、平成18年7月15日(土)、阿見キャンパスにおいて公開説明会(オープンキャンパス)を開催しました。

同学部では、これまで高校見学の際には積極的に公開授業、施設公開を行ってきており、今年はこれらの実績を踏まえ、企画内容を一新し、「保護者との懇談会」、「公開模擬授業」を取り入れ、午前の「学部紹介」、昼休みの企画「在学生による学生生活の説明」、「学生寮見学」、午後の「施設・研究室見学」など盛りだくさんの内容で行われました。

当日は、約200名の高校生、保護者らが訪れ、猛暑にも拘わらず積極的に各企画に参加し、「研究室訪問」では参加者が直接各研究室を訪れ、教員・学生たちと直接交流を持つ貴重な体験を得ることができました。

特に、「保護者との懇談会」では、昨年度に比べて出席した保護者が増加し、積極的に質問が寄せられるなど、保護者らの受験に対する強い関心を伺い知ることができました。

また、同月22日にも水戸地区で開催された全学部によるオープンキャンパスにおいても学部紹介及び入試相談コーナーで広報活動を行いました。



公開説明会の参加者受付のようす

## 2006オープンキャンパス

本学では、7月22日(土)に水戸キャンパスでオープンキャンパスを開催し、四千名余りの高校生の参加がありました。

21回目となる今回は、茨城大学入学センター設立後初のオープンキャンパスとなり、特別企画として、公開ゼミの実施及び東京大学などと連携した大規模研究プロジェクト「サステナビリティ学(地球持続学)連携研究機構」の概要説明を行いました。

なお、前年度好評だった保護者説明会后に引き続いて保護者相談コーナーを設け、終日保護者からの相談をお受けしました。

また、インフォメーションコーナーに新たに履修・カリキュラム相談コーナー、留学相談コーナーを設け、終日大勢の高校生で賑わいました。



説明会資料を受けとる高校生の皆さん(水戸キャンパス正門)

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 6月号 -

毎週木曜の18時35分から、NHK水戸放送局公開スタジオ「飛び出せ！キャンパス」のコーナーでは、本学や筑波大、東京芸術大取手キャンパスの学生が提供した映像作品が紹介され、併せて、企画・撮影にあたった学生たちが司会者とトークを行っています。

平成18年6月1日(木)・・・茨城大学教育学部情報文化課程：プロジェクト科目

映像工房プロジェクトの活動紹介

「ストップモーションアニメ：しりとりに遊び」

(児童情報コース4年次 花香磨衣子さん)

情報文化課程独自の授業科目として、「プロジェクト科目」があります。1年から3年まで必修となっている異学年の集団による授業です。「集団による活動」「具体的なテーマ設定」「成果の発表」という基本方針に基づきながら一つの目標(今回の目標はアニメーションの制作)のもとに組織を作り、学習・研究活動を行っています。



写真は 教育学部情報文化課程  
映像工房プロジェクトの皆さんと  
大木アナウンサー

NHK水戸放送局公開スタジオにて：

右端は、大木アナウンサー

右上段、坪井さん、佐藤さん、川崎さん、中野さん、

下段、花香さん、小野さん、川畑さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月号 -

毎週木曜の18時35分から、NHK水戸放送局公開スタジオ「飛び出せ！キャンパス」のコーナーでは、本学や筑波大、東京芸術大取手キャンパスの学生が提供した映像作品が紹介され、併せて、企画・撮影にあたった学生たちが司会者とトークを行っています。

平成18年7月6日(木)・・・茨城大学漕艇部の活動紹介

(理学部数理科学科4年次 都田智憲くん)

8月に行われる全日本大学選手権の男子クォドルプル(M4X)に出漕するクルーを紹介する。目標を持ち、その達成のため全力を尽くす。体育会という凝り固まった価値観の中で失うものもある。しかし、それ以上に本気で目指すからこそ得られるものもたくさんあると思う。たったひとつの証を手に入れるために練習を重ね、その先でどんな自分と出会えるだろうか。どんな自分に出会いたいだろうか。

茨城大学漕艇部として過ごしてきた日々の中で何を感じ、どんな姿で卒業を迎えたいと思っているかを表現した。



写真は

大木アナウンサーと

茨城大学漕艇部の皆さん

NHK水戸放送局公開スタジオにて：

中央は、大木アナウンサー

左から、主将の宮越くん、副将の井出くん、漕手の陶山くん、伊藤くん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.1 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月18日(火)・・・人文学部人文学科日本考古学研究室(茂木雅博教授)の紹介  
日本考古学研究室には現在、学部生10人、院生2人が所属しています。

去年8月に1ヶ月間東海村にある真崎古墳群の1号墳と5号墳の発掘調査をしました。その時に出土した遺物の整理作業から報告書を製作するまでの流れと、その他屋外で実施する様々なフィールドワークの一例として、奈良県大峯山での山伏修行体験について紹介しました。

また、これまでにまとめた9冊の報告書から、常陸日天月天塚古墳と中国皇帝陵の測量調査について紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて

左から:平野アナ、

茂木研究室の米川くん、

茂木雅博教授、

出演者の村上くん、加増利さん、

栗原さん、植田さん、佐藤さん、

茂木研究室の加藤さん、関根さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.2 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月19日(水)・・・大学院理工学研究科 応用粒子線科学専攻

中性子材料科学講座 友田研究室(友田 陽教授)の紹介

友田研究室には現在、学部生4人、修士の大学院生9人、博士の大学院生10人の計23人が所属しています。留学生や海外からの研究員が多くまた、国内外の学会にも積極的に参加する国際色豊かな研究室です。

研究室のテーマ「中性子ナノ構造解析によるエコマテリアル開発」のキーワードは「量子ビーム組織・構造解析技術」、「環境調和型材料開発」と「材質予測技術と信頼性評価」です。ミクロ組織と各種特性の関係の解明が主たる内容になりますが、中性子ビームの利用、工業材料のマテリアルフローの把握、それに基づきリサイクル性を考慮した高機能材料の開発等に注力している点が他研究室と異なる特徴です。研究室メンバーは各自が「やりたいこと」を主張し、研究室で実施可能な課題について研究を進めています。

6月3日に行われた「こうがく祭」での「たたら製鉄」の模様をVTRと「ケラ」で紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて  
左から：平野アナ、

友田研究室の袖山くん、石橋くん、  
増淵くん、小島さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.3 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月20日(木)・・・理学部 理学科 生物科学コース

田内研究室(田内 広教授)の紹介

田内研究室では、放射線などで起きる遺伝子の損傷を、細胞の中で直す仕組みや、がんが発症する仕組みを研究しています。4年生6人、修士の大学院生7人、博士の大学院生2人の計15人が、分子生物学の実験や研究に取り組んでいます。優しいけれどちょっと厳しい? 田内先生の指導のもとで、主にヒトやニワトリの培養細胞(動物から取り出した細胞を培養したもの)を使って遺伝子の変化やタンパク質の役割を調べています。

スタジオでは、これらの研究内容について、DNA析出(可視化)の実演や、遺伝子損傷・修復活動・突然変異の可視化など写真パネルで紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて  
左から:平野アナ、田内 広教授、  
田内研究室の景山くん、鈴木さん、  
江原くん、片吉くん、東くん、  
田中さん、飯島くん、須坂くん、  
関くん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.4 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月21日(金)・・・工学部 機械工学科 増澤研究室(増澤 徹教授)の紹介

増澤研究室では、工学技術の医療分野への展開のための研究を行っています。具体的には人工心臓の開発や、超音波メスの研究などです。そんな数ある研究内容の中から、人工心臓について紹介しました。

スタジオでは、磁気浮上型人工心臓について、実機とVTRで紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて

左から：平野アナと

増澤研究室の皆さん

左から：平野アナ

前列：千葉くん、石塚くん、加藤くん、佐々木くん、八品くん、太田さん、加藤先生

後列：濱口くん、橋本くん、鈴木くん、石井くん、中山くん、黒須くん、倉兼くん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.5 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月24日(月)・・・理学部 理学科 化学コース

### 折山研究室(折山 剛教授)の紹介

折山研究室では、有機合成化学に関する研究を行っています。研究テーマは大きく二つあります。一つは、左手と右手の関係にある鏡像異性体とよばれる化合物をつくり分ける不斉合成です。この不斉合成は、医薬品などの開発に非常に役立ちます。もう一つは、環境調和型反応の開発です。効率的に反応を行い、廃棄物をできるだけ出さない環境にやさしい反応をめざしています。

研究室のメンバーは、先生を含めて12名で、そのうち留学生が3名(中国人2名、韓国人1名)いる国際的な研究室です。私たちは一日の半分以上を研究に費やしています。「知力より体力！」でも、常に考えながら研究することがとても重要で、世界中の研究者と競争しながら、最先端研究のナンバー1をめざしています。

スタジオでは、これらの研究内容について、VTRや写真パネルなどで紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて  
前列中央:大木アナと

折山研究室の皆さん

前列左から:坂内くん、大木アナ、森田さん、徐さん、大村さん

後列左から:韓さん、呂くん、石野くん、長島くん、矢野くん、千葉くん、青柳くん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.6 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月25日(火)・・・教育学部 情報文化課程 広報プロジェクトの紹介

島田研究室(島田 裕之教授)、岩佐研究室(岩佐 淳一助教授)、林研究室(林 延哉助教授)

情報文化課程広報プロジェクトは、作られて8年目のユニークな授業で、専門科目でも教養科目でもない授業形態をとっています。1～4年生が共同で行う授業で、チームワークで授業を学生自ら創ることがポイントとなっています。様々なプロジェクト科目の中の一つとして位置づけられています。このプロジェクトは、情報文化課程を広報する そのことを通じて文章力/企画力/マネージメント能力/交渉力を養うことが目的です。

スタジオでは、これらの授業内容について、VTRと情報雑誌『いんふおかるちゃー』で紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて  
左端:大木アナと

広報プロジェクトの皆さん

左から:大木アナ、小松崎くん、谷村さん、吉田くん、荒木さん、春山さん、浦山さん、  
妻鹿くん、原くん、土泉さん、岩田くん、久保庭くん、佐藤さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.7 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月26日(水)・・・大学院教育学研究科 学校臨床心理専攻の紹介

学校臨床心理専攻では、スクールカウンセラーをはじめ、学校に関する領域を中心に様々な臨床現場で活躍できる心理臨床の実践家を目指して学んでいます。特徴としては、社会人学生、小中高の現職教員学生、学部から直接進学してきた学生が、同じ院生として、お互い情報交換しながら刺激しあっているという点が上げられます。修了生には、資格を取り臨床心理士としてスクールカウンセラーや児童養護施設等で活躍している方もいますし、現職教員として大学院で学んだ臨床心理学の知見を学校現場で活用している方もいます。

スタジオでは、これらの授業内容について、学生(M1:深谷佳子)手作りのVTRと大学院教育学研究科のパンフレット「もっと知りたい人の大学院を歩く本」で紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて  
左端:大木アナと

学校臨床心理専攻の皆さん

前列左から:米田さん、加藤さん、半澤さん、福田さん、川井くん、大木アナ  
後列左から:林さん、高畑さん、深谷さん、佐藤くん、石川くん、守屋先生、  
片山さん、松本さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

- 「NHK 県域デジタルTV 放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.8 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月27日(木)・・・農学部 資源生物科学科

環境毒性化学研究室(太田 寛行教授)の紹介

太田研究室では、微生物生態学という学問分野を通して地球環境の保全を考えていこうとしています。1gの土にはおよそ10億もの微生物が棲息しており、私たちはこの微生物の大きな力をかりて様々な研究を行っています。

スタジオでは、これらの研究のうち、ノニルフェノール分解菌、畑地での微生物による亜酸化窒素ガス発生について、三宅島火山灰の微生物などについて、写真パネルで紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて  
前列中央:大木アナと

太田研究室の皆さん

左から:梅津くん、小里さん、藤村さん、鶴田くん、野中くん、ICAS佐藤研究員、大木アナ

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆様のご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。

## - 「NHK 県域デジタルTV放送」

茨大タスクフォースだより 7月臨時増刊号 Vol.9 -

平成18年7月18日(火)から7月28日(金)の18時45分頃から、NHK水戸放送局公開スタジオで「熱風スタジアム」のコーナーに、本学の特色ある研究室が出演しました。

平成18年7月28日(金)・・・人文学部 社会科学科 内田研究室(内田 聡助教授)の紹介  
内田研究室(金融論ゼミナール)には現在、学部生17人が所属しています。

皆さんは「金融」というと、お金儲けの学問だと思いませんか？本来、金融は社会に不可欠なもので、私たちはその仕組みや活動を日々勉強しています。

しかし、それにとどまらず、ゼミ活動の最大の目標は、将来「社会に出て、自分がやりたいことを実現する力」を身につけることで、いつも学生が主体的に活動しています。

11月に開催される「働く意義、学ぶ意義」の講義とシンポジウムについて紹介しました。



NHK水戸放送局公開スタジオにて  
左から：大木アナ、内田 聡助教授と  
内田研究室の皆さん

前列左から：大木アナ、内田先生、長谷川くん、芳賀さん、久保さん、野村くん、高森さん、  
後列左から：木内さん、田中くん、長尾さん、佐藤さん、横山くん、山倉くん、佐野くん、  
五月女さん

NHKでは、地元にある大学で学ぶ学生たちの自由な発想による映像作品を紹介し、視聴者に興味を持ってもらえるコーナーを目指しているそうです。皆さんのご協力をお願いいたします。

デジタルテレビ放送は、生協の1階食堂と大学会館食堂のテレビで見ることができます。